

黒龍江大学

20180304～20180804

留学報告書

高知工科大学
経済マネジメント学群3年
本田茜



○留学を決めた経緯

私にとって留学をするということは高校生の頃からの夢でした。大学入学以来さまざまな海外研修に参加していく中で、短期ではなく長期的に異文化や価値観の違いに触れ英語を使う生活をもっと長く体験したいと強く思い今回

↓大学2年生の際訪ねた上海



申し込むことに決めました。その際よく聞かれるのが“なぜ中国を選んだか”という質問ですが、大学二年生の中国のサマーキャンプで初めて中国を訪ね、中国の圧倒的な人口の多さと高層ビルなど発展した街並みに驚き、その際中国が発展できた理由・そしてこれからどのような取り組みをして発展し続けるのか勉強したいと思ったのがきっかけです。また、日本で耳にする中国に関するニュースはほとんどが悪いものばかりで、実際に報道していない事実もあるはずです。間接的ではなくて、自分の五感を使い直接的に触れ、中国で中国の歴史を学ぶことで中国に関する価値観も変わるのではないかと思い今回の留学を決意しました。

○注意してほしいこと

まず、皆さんに伝えたいことがあります。黒龍江大学での生活はほとんどが中国語メインになるということです。当初私は英語で交流しつつ、授業で少し中国語を学べたらいいくらいの気持ちで、中国語は全く勉強せずに向かいました。しかし、初日の外国人登録の際、全てが中国語で行われており当時日本人一人だった私はかなり戸惑いました。

(数日後に私学留学で来ていた日本人に会えました。合計六人くらいです。) どうすればよいか困惑していた際、近くにいたアメリカ人留学生が英語で訳すのを手伝ってくれてようやく初日を終わることができました。そして気づいたことが、ほとんどの留学生たちは自国で中国語を専攻しており、留学前に1～3年中国語を勉強して来ている人が多いということです。最初に述べたように、約半年の生活はほとんど中国語がメインです。幸い、私はアメリカ人の友達がたくさんできたため、彼らとコミュニケーションをとりつつ英語を学ぶことができましたが、“英語”をメインとした留学を希望する人たちにはあまりおすすめしません。しかし、本気で勉強すれば、中国語の入門レベルから勉強しはじめた私でも半年後には中級レベルのクラスに達するくらい必ず中国語を身につけることができるので、英語プラス第三言語を身に付けたい方にはおすすめのプログラムです。

○大学での生活

私が着いた際は3月でしたが、それでも外は-15度で全体が雪で覆われるくらい寒い
です。夏はさほど温度が上がらず風通しも良いので、すごく過ごしやすい気候だと思
います。また、ハルビンにはヨーロッパ風の街並みで、さらにロシア文化の影響を受
けたということもありさまざまな文化が入り混じった街並みで生活しながら異文化
に触れることができます。大学はA~C区という区域があり、とても広く開放的な学
校です。

大学内には大きな図書館が2つとたくさんのカフェ
があるので勉強にも快適です。



↑川が全て凍っている様子

黒龍江大学の**おすすめポイント**を紹介します。

1 周辺にすべてがそろっているので便利！

スーパー・銀行・病院・郵便局・夜市・地下鉄・バス停全てが学校周辺にあるため便利
な生活を送ることができます。私はよく地下鉄に乗って大きなモールに行ったり、夜は
夜市で買い物したりしました。留学生に韓国人が多いこともあり、周辺は韓国料理屋さ
んも多いです。とても安価に美味しいものを食べることができます。

2 寮がとても綺麗

私は2人部屋を選択しました。ルームメイトは韓国人で、日本が大好きな子だったので
すぐに打ち解けることができました。(ルームシェアが不安な子はその子を紹介するこ
ともできます。) 部屋は、大きなベッドと机が

それぞれ1セットずつありお風呂とトイレもすごく綺麗です。

阿姨(アニー)と呼ばれているおばさんたちが

それぞれの階におり、毎日ゴミ回収と掃除に来てくれます。

寮の1階にはおばさん(寮母さん?)が

常駐しており、困った際は片言の中国語で伝えると(英語

が全く通じないので)優しく助けてくれます。



↑ルームメイトのぎよむさん

3. 学校がイベントを開催してくれる

月に1回程度、学校が交流・観光のイベントを開催してくれます。私は中央大街と呼ば
れるロシアとの文化が混合しているストリート・ミュージアム・虎公園・登山・海や運
動会に参加しました。友達作りのきっかけにもなりますし、中国の文化を学ぶ最高の機

会になります。



↑クラス全員と公園で撮った写真



運動会で浴衣を着て行進した写真→

4. 日中の交流会がある

黒龍江大学の隣の哈尔滨工程大学では、週に1回、日本人と日本語を勉強している中国人との勉強会が開催されており、私も参加していました。そこで、私は相互学習相手を見つけ互いに勉強を教え合っていました。ハルビンの大学にはたくさん日本語を勉強している人たちがいて、開催されるイベントには日本人代表として参加し、日本文化を披露しました。

5. 夏の中国語1ヶ月コースに参加できる

1学期は3月から6月までですが、私は引き続き7月から8月の1ヶ月間のサマーコースにも参加しました。この1ヶ月間は集中して中国語のみを勉強することができました。また、世界各国から下は小学生、上は70代のおじいちゃんまでいて様々な世代の人々と交流することもできます。

○授業

中国語の授業は、入学してすぐレベル分けのテストがあります。私は未学習だった為、テストは受けずに入門クラスからのスタートでした。クラスとしては、入門2つ・初級3つ・中級3つ高級2つのクラス分けになっています。

内容としては、総合・聞き・読み・書き・話すなどの5つがあり毎日2教科ずつ授業が行われます。日本と違って間に休み時間がたくさんあるので気楽に授業を受けることができます。



↑教科書

ただ、8時開始なので遅刻しないよう気をつけないといけません。

私のクラスは14人で、日本人1人・アメリカ人5人・ロシア人5人・ベラルーシー人2人・アルゼンチン人1人の構成でした。

私たちは中国語が話せないので、日常会話はアメリカ人中心に英語でコミュニケーションをとっていました。担任の先生がとても親切で授業もわかりやすく、放課後も WeChat で質問や添削を毎日お願いしていました。

英語の授業に関しては、私1人とアメリカ人10人くらいが受けることになっており、7つくらいある授業の中で私は自動的に国際法・国際貿易・マクロ経済を受けることになりました。1クラス3名ずつで、先生が中国人の為英語が聞き取りにくい時もありましたが、アメリカ人に解説？してもらいながら授業を進めていました。最後の課題として、国際法では“各国の国籍と死刑方法の違いについて”、国際貿易では、“cool japan”の取り組みについて、マクロ経済では毎日の課題の提出で評価が決まりました。

このような感じで朝は中国の授業を受け、午後は英語での授業を受けていました。授業後はよくカフェへ行って、3時間くらい勉強していました。1杯150円くらいでコーヒーが飲めますし、たくさんおしゃれなカフェがあるので楽しみながら勉強することができます。

○中国で挑戦してほしいこと

中国ではアプリが発達しているのでぜひみなさんに挑戦してほしいと思います。

1. WeChat



日本でいう LINE と同じですが、ここにお金をチャージしておくことで生活がすごく便利になります。中国ではキャッシュレス化が進んでおり、ほとんどの人が携帯だけ持って出かけます。バーコードを読み取ることで決済ができるようになっています。中国では外食の際など一括で払うことが多いので割り勘の際や、ネットショッピング・汽車予約・携帯代の支払いの際にもこの WeChat pay が必要となるので持っておくと、とても便利です。

2. タオバオ

こちらはネットショッピングになります。とても安価なものを送料抜きで頼むことができます。2～3日で届くので必要なものはこれを使って頼んだりしていました。日本製品も注文できます。

淘宝网
Taobao.com

3. 外卖



ワイマイと呼ばれるアプリで、ご飯を注文するものです。

何百種類とある中から注文し、20～30分後には家まで届けてくれます。ご飯作るのが外食するのが面倒な時はこれを利用していました。到着した際には電話がかかってくるので、中国語の勉強にも役立ちます。

以上が、私の特にオススメの3つのアプリです。ぜひ中国の最先端の技術を体験しながら生活してほしいと思います。

○メッセージ

中国は2008年の北京オリンピック以降、急成長を遂げておりそれを身を持って感じることができました。その一方で、都心部を離れるとホームレスの方々が物乞いしている様子やゴミ箱の中を漁っている様子、たった1本20円の水を暑い中必死に毎日販売してお金を稼いでいる人たちを目にすることもあります。また、中国の学生はとても勉強熱心です。私の友人の一人はアメリカの院に行く夢を叶える為、夏休みであるにも関わらず、毎日図書館で8時間勉強していました。日本とは違い、図書館にはエアコンもなく暑い状態の中で何百人の学生が勉強を頑張っている姿を目にすることがあります。人口が日本の(←10倍ぐらいいない?)いる中国ではチャンスの幅が狭いからこそ、一人一人が自分の夢にむかって頑張っている姿を目の当たりにしました。そんな中で、自分の日本での生活を振り返るとまだまだ甘えている部分が多く、せっかく大学に通えて勉強できる環境にいるのに、もっとできることがあるのではと反省するきっかけになりました。

中国留学をきっかけに感じたことは、中国人はとても心が温かい人が多いということです。困ったりして道を訪ねた際、必ず親切に教えてくれます。スーパーに行く・タクシーに乗る際、“どこの国の人?”と聞かれることが多いですが、“日本人!”と答えると、大体の人が“あ～日本!”と笑顔で対応してくれます。ハルビンは反日の都市だと言われていますが、実際はそんなこともなく多くの人が日本の文化・食が好きです。ニュースやネットの情報だけでなく、実際中国で暮らしてみると、中国の良いところを身を持って感じることができると私は保証します。隣国である中国は日本にとってこれからも大切な存在であり、身近だからこそ手軽に訪ねることもできます。中国や中国語が初めてだという方でも黒龍江大学では安心して生活することができるので、多くの人

にこのチャンスを掴んでほしいと思います。

最後に、現在中国留学に関する情報はネットではあまり多くありません。中国への研修・留学・旅行など、何か情報が欲しい方々の役に立てたらと思っています。至らない部分がたくさんありましたが、最後まで国際交流部の皆様サポートありがとうございました。